

B 151 パソコンによるペーヅリーのテキスタイルデザイン化
日本女作家政 小口 登

目的 ペーヅリーは更紗文様の中しばしば見られる魅力的な形と色彩をもつ模様で、近時婦人服のフロント柄のテキスタイルデザインとして多く用いられている。この形、色彩および配置をパソコンにより自由に表現して被服上で評価することも目的とする。

方法 パソコン(640×400ドットの色ディスプレイ使用)を用いて、翼の断面理論のJoukowski 図形をプログラムにより表現し、形の変化、色と配置の変更を自由に行ってスライドとし、カメラ、プロジェクター、被服状スクリーンを用いて投影・撮影を繰り返して柄の被服上観察と評価を行った。

結果 Joukowski 図形を基本とし、コンピュータプログラミングの技法を用いて変化をもたせ、被服柄として実用性があるかどうかを早く確かめ、よいものは安全に保存し、任意の時に変更もできるので、テキスタイルデザインの創造として用いることができることかわかった。